

取扱説明書

FORIS[®] FG2421

カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ず使用上の注意、この取扱説明書およびセットアップガイドをよくお読みになり、正しくお使いください。

- コンピュータなど、外部機器との接続から使いはじめるまでの基本説明についてはセットアップガイドを参照してください。
- 最新の取扱説明書は、当社のWebサイトからダウンロードできます。
<http://www.eizo.co.jp>



警告表示位置



CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK. DO NOT OPEN.

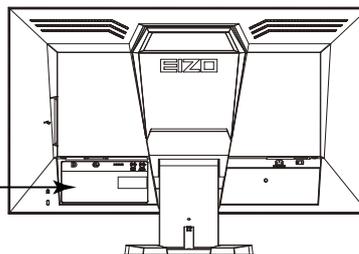
ATTENTION
RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE. NE PAS OUVRIR.

ACHTUNG
GEFAHR DES ELEKTRISCHEN SCHLAGES. RÜCKWAND NICHT ENTFERNEN.

小心
有触电的风险。请勿打开。

警告
感電の恐れあり、カバーをあげないでください。

The equipment must be connected to a grounded main outlet.
Jordet stikkontakt skal benyttes når apparatet tilkobles datanett.
Apparaten skall anslutas till jordat nätuttag.
这设备必须连接至接地主插座。
電源コードのアースは必ず接地してください。



製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
- 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

モニターについて

この製品は、ビデオゲームの表示やマルチメディアコンテンツの閲覧などの用途に適しています。

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げても使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「[クリーニングの仕方](#)」(P.4) 参照）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は99.9994%以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、EIZOコンタクトセンターまたはEIZOサポートにお問い合わせください。

パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングの仕方

注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットやパネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナーは、キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

参考

- キャビネットやパネル面のクリーニングにはScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。

キャビネットやパネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせて、やさしくふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

目次

| | | | |
|-----------------------------|----|--|----|
| モニターについて..... | 3 | 3-3. 背面のロゴ表示を設定する..... | 22 |
| クリーニングの仕方..... | 4 | 3-4. 表示言語を設定する..... | 23 |
| モニターを快適にご使用いただくために..... | 4 | 3-5. EIZOロゴを表示/非表示にする..... | 23 |
| 目次..... | 5 | 3-6. 設定メニューの位置を変更する..... | 23 |
| 第1章 はじめに..... | 7 | 3-7. 操作ボタンをロックする..... | 24 |
| 1-1. 特長..... | 7 | 3-8. HDMI信号入力時の認証方法を切り替える..... | 24 |
| 1-2. 各部の名称と機能..... | 8 | 3-9. 初期設定に戻す..... | 25 |
| 1-3. 基本操作と機能一覧..... | 9 | ● カラー調整値をリセットする..... | 25 |
| ● 設定メニューの基本操作方法..... | 9 | ● すべての設定内容をリセットする..... | 25 |
| ● 機能一覧..... | 10 | 第4章 省電力機能について..... | 26 |
| 第2章 画面を調整する..... | 11 | 4-1. パワーセーブを設定する..... | 26 |
| 2-1. 対応解像度/対応フォーマット..... | 11 | ● モニター..... | 26 |
| 2-2. 解像度を設定する..... | 12 | 4-2. モニターの自動明るさ調整を設定する..... | 27 |
| 2-3. カラーを調整する..... | 13 | 第5章 接続する..... | 28 |
| ● 表示モード（カラーモード）を選択する..... | 13 | 5-1. 複数の外部機器を接続する..... | 28 |
| ● 詳細な調整をする..... | 14 | ● 入力信号を切り替える..... | 29 |
| ● 各モードの調整項目..... | 14 | 5-2. 外部スピーカーを接続する..... | 29 |
| ● ブライトネス（明るさ）を調整する..... | 15 | 第6章 こんなときは..... | 30 |
| ● 黒の明るさと色を調整する..... | 15 | 6-1. 画面が表示されない場合..... | 30 |
| ● コントラストを調整する..... | 16 | 6-2. 画面に関する症状..... | 31 |
| ● 色温度を調整する..... | 16 | 6-3. その他の症状..... | 33 |
| ● ガンマを調整する..... | 17 | 第7章 ご参考に..... | 34 |
| ● ゲインを調整する..... | 17 | 7-1. スタンドベースの取外方法/取付方法..... | 34 |
| ● コントラスト拡張の強調度合いを設定する... .. | 18 | 7-2. ケーブルホルダーの取付方法/取外方法..... | 36 |
| ● 動画のボケを軽減する..... | 18 | 7-3. USB（Universal Serial Bus）の活用について..... | 37 |
| 2-4. 画面サイズの切り替え..... | 19 | ● 必要なシステム環境..... | 37 |
| ● 画面サイズを切り替える..... | 19 | ● 接続方法（USB機能のセットアップ方法）... .. | 38 |
| ● 文字や線のぼやけを直す..... | 19 | 7-4. モニター情報を表示する..... | 39 |
| 2-5. カラースペースの設定..... | 20 | 7-5. 仕様..... | 40 |
| ● カラースペースを設定する..... | 20 | 第8章 用語集..... | 43 |
| 第3章 モニターを設定する..... | 21 | 付録..... | 46 |
| 3-1. サウンドを設定する..... | 21 | | |
| ● 音源を選択する..... | 21 | | |
| ● 音量を調整する..... | 21 | | |
| ● 音声のレベルを調整する..... | 22 | | |
| 3-2. 電源ランプの表示を設定する..... | 22 | | |

| | |
|----------------|----|
| 商標 | 46 |
| VCCI..... | 47 |
| その他規格 | 47 |
| 中国RoHS | 48 |
| アフターサービス | 49 |

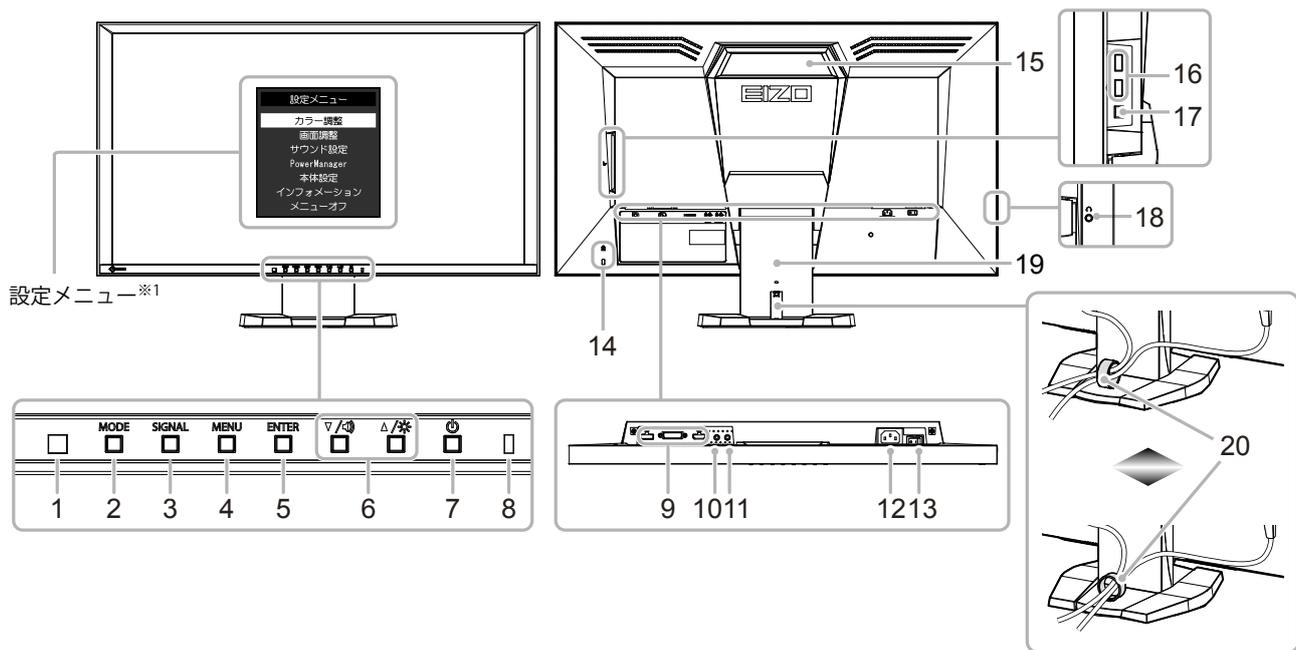
第1章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

- 23.5型ワイド画面
- 解像度1920×1080対応
- 広視野角パネル採用
VAパネルによる水平：176°、垂直：176°の広視野角を実現
- 垂直走査周波数120Hzに対応し、高い動画応答性能を実現
- Turbo 240機能搭載
動画を表示しているときに生じる画像のぼやけ（動画ボケ）を軽減できます。
「動画のボケを軽減する」 (P.18) 参照
- 3系統信号入力搭載（DisplayPort×1、DVI-D×1、HDMI×1）
 - DisplayPortコネクタ（8bit対応）※1
映像信号と音声信号を、1本のDisplayPortケーブルで伝送できます。
※1 DisplayPortケーブルを使って音声信号を伝送する場合、ご使用のグラフィックスボードが、音声出力に対応している必要があります（「7-5.仕様」 (P.40) 参照）。
 - HDMIコネクタ（8bit対応）
HDMI入力でPC信号に対応
- カラーモード機能を搭載し、表示画像に適した表示モードを選択可能
eSports（FPS/RTS）の表示に適したモードを搭載しました。eSports、FPS、RTSの詳細は「第8章用語集」 (P.43) を参照してください。
「表示モード（カラーモード）を選択する」 (P.13) 参照
- 可動範囲の広いスタンドを採用
作業しやすく疲れにくい快適な位置にモニターを調整できます。
（チルト：上25°/下0°、スウィーベル：344°、昇降：60mm）
- マウスやキーボードを使って画面を調整するソフトウェア「G-Ignition」対応
当社のWebサイト（<http://www.eizo.co.jp>）からダウンロードできます。
- HDCP（著作権保護技術）により保護されたコンテンツを表示可能
- ヘッドホンジャック装備
「1-2.各部の名称と機能」 (P.8) 参照
- ライン出力コネクタ搭載
アンプ内蔵のスピーカーを接続し、音声を出力することができます。
「5-2.外部スピーカーを接続する」 (P.29) 参照

1-2. 各部の名称と機能



| | |
|-------------------|--|
| 1. 外光センサー | 周囲の明るさを検知します (Auto EcoView (オートエコビュー) 機能 (P.27))。 |
| 2. MODE ボタン | カラーモードを切り替えます (P.13) 。 |
| 3. SIGNAL ボタン | 表示する入力信号を切り替えます (P.29) 。 |
| 4. MENU ボタン | 設定メニューを表示したり、表示しているメニューを非表示にします (P.9) 。 |
| 5. ENTER ボタン | 各メニューの調整項目を決定したり、調整結果を保存します (P.9) 。 |
| 6. ▼/◀)、▲/▶) ボタン | <ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの選択や、機能の調整または設定をします。 ▼/◀) ボタン： 音量 (ボリューム) 設定画面を表示します (P.21) 。 ▲/▶) ボタン： 明るさ (ブライツネス) 設定画面を表示します (P.15) 。 |
| 7. ⏻ ボタン | 電源のオン/オフを切り替えます。 |
| 8. 電源ランプ | モニターの動作状態を表します。 青： 画面表示 橙： 省電力モード 消灯： 主電源オフ |
| 9. 信号入力コネクタ | 左： DisplayPortコネクタ/中： DVI-Dコネクタ/右： HDMIコネクタ コンピュータなどの外部機器を接続します。 |
| 10. ライン入力コネクタ | (ステレオミニジャック) コンピュータなどの外部機器を接続します。 |
| 11. ライン出力コネクタ | (ステレオミニジャック) アンプ内蔵のスピーカーを接続します (P.29) 。 |
| 12. 電源コネクタ | 電源コードを接続します。 |
| 13. 主電源スイッチ | 主電源のオン/オフを切り替えます。 |
| 14. 盗難防止用ロック | Kensington社製のMicroSaverセキュリティシステムに対応しています。 |
| 15. ハンドル | 運搬用のハンドルです。 注意点 <ul style="list-style-type: none"> 運搬時にはハンドルと画面の下部をしっかりと持ち、モニターを落とさないようご注意ください。 |
| 16. USBポート (DOWN) | USBに対応している周辺機器と接続できます。 |
| 17. USBポート (UP) | USB接続が必要なソフトウェア、USBハブ機能を使用する場合にUSBケーブルを接続します (P.37) 。 |
| 18. ヘッドホンジャック | ヘッドホンを接続します。 |

| | |
|--------------|---------------------------|
| 19. スタンド | 高さや角度（チルト、スウィーベル）が調整できます。 |
| 20. ケーブルホルダー | ケーブルを収納します。 |

※1 使用方法は、「[設定メニューの基本操作方法](#)」（P.9）を参照してください。

1-3. 基本操作と機能一覧

● 設定メニューの基本操作方法

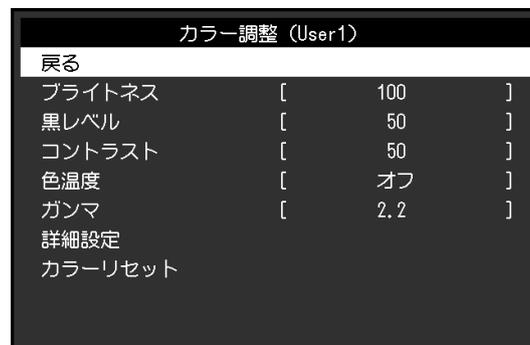
1. 設定メニューの表示

1. MENU を押し、設定メニューを表示します。



2. 調整/設定

1. ▼▲ で、調整/設定したいメニューを選択し、ENTER を押します。サブメニューが表示されます。



2. ▼▲ で、調整/設定したい項目を選択し、ENTER を押します。調整/設定メニューが表示されます。



3. ▼▲ で、調整/設定し、ENTER を押して確定します。

3. 終了

1. MENU を押します。

● 機能一覧

設定メニューおよび各メニューの設定項目の一覧表です。

| メインメニュー | 項目 | | 参照先 |
|-------------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------------------|
| カラー調整 | ブライトネス | | 「2-3. カラーを調整する」 (P.13) |
| | 黒レベル | | |
| | コントラスト | | |
| | 色温度 | | |
| | ガンマ | | |
| | 詳細設定 | ゲイン ^{※1} | |
| | | コントラスト拡張 | |
| Turbo 240 ^{※2} | | | |
| カラーリセット | | 「3-9. 初期設定に戻す」 (P.25) | |
| 画面調整 | 画面サイズ | | 「2-4. 画面サイズの切り替え」 (P.19) |
| | カラースペース ^{※3} | | 「カラースペースを設定する」 (P.20) |
| | スムージング | | 「文字や線のぼやけを直す」 (P.19) |
| サウンド設定 | 音源 ^{※3} | | 「音源を選択する」 (P.21) |
| | 音声レベル | | 「音声のレベルを調整する」 (P.22) |
| PowerManager | パワーセーブ | | 「4-1. パワーセーブを設定する」 (P.26) |
| 本体設定 | Auto EcoView | | 「4-2. モニターの自動明るさ調整を設定する」 (P.27) |
| | 電源ランプ | | 「3-2. 電源ランプの表示を設定する」 (P.22) |
| | 背面LED | | 「3-3. 背面のロゴ表示を設定する」 (P.22) |
| | 言語選択 | | 「3-4. 表示言語を設定する」 (P.23) |
| | メニュー設定 | 起動ロゴ | 「3-5. EIZOロゴを表示/非表示にする」 (P.23) |
| | | メニューポジション | 「3-6. 設定メニューの位置を変更する」 (P.23) |
| リセット | | 「3-9. 初期設定に戻す」 (P.25) | |
| インフォメーション | | | 「7-4. モニター情報を表示する」 (P.39) |

※1 User1、User2、User3の場合に設定できます。

※2 User1、User2、User3、RTSの場合に設定できます。

※3 DVI信号入力の場合は選択できません。

第2章 画面を調整する

2-1. 対応解像度/対応フォーマット

この製品は次の解像度/フォーマットに対応しています。

デジタル信号（PC信号：DisplayPort、DVI-D、HDMI）入力時

| 解像度 | 垂直走査周波数 | DisplayPort | DVI | HDMI |
|---------------------------|---------|-------------|-----------------|------|
| 640 × 480 | 60 Hz | ○ | ○ | ○ |
| 640 × 480 | 75 Hz | ○ | ○ | ○ |
| 640 × 480 | 100 Hz | ○ | - | ○ |
| 640 × 480 | 120 Hz | ○ | ○ | ○ |
| 720 × 400 | 70 Hz | ○ | ○ | ○ |
| 800 × 600 | 60 Hz | ○ | ○ | ○ |
| 800 × 600 | 75 Hz | ○ | ○ | ○ |
| 800 × 600 | 100 Hz | ○ | - | ○ |
| 800 × 600 | 120 Hz | ○ | ○ | ○ |
| 1024 × 768 | 60 Hz | ○ | ○ | ○ |
| 1024 × 768 | 75 Hz | ○ | ○ | ○ |
| 1024 × 768 | 100 Hz | ○ | - | ○ |
| 1024 × 768 | 120 Hz | ○ | ○ | ○ |
| 1280 × 720 | 60 Hz | ○ | ○ | ○ |
| 1280 × 960 | 60 Hz | - | ○ | - |
| 1280 × 1024 | 60 Hz | ○ | ○ | ○ |
| 1280 × 1024 | 75 Hz | ○ | ○ | ○ |
| 1280 × 1024 | 120 Hz | - | ○ ^{※1} | - |
| 1920 × 1080 ^{※2} | 60 Hz | ○ | ○ | ○ |
| 1920 × 1080 | 100 Hz | ○ | ○ ^{※1} | - |
| 1920 × 1080 | 120 Hz | ○ | ○ ^{※1} | - |

VESA規格およびCEA-861に準拠したグラフィックスボードが必要です。

※1 DVI Dual LinkケーブルDD200DL（オプション）で接続する必要があります。

※2 推奨解像度です。

デジタル信号（ビデオ信号：DisplayPort、HDMI）入力時

・映像信号

| フォーマット | 垂直走査周波数 | DisplayPort | HDMI |
|-----------|---------------|-------------|------|
| 640 x 480 | 60 Hz | ○ | ○ |
| 480i | 60 Hz | - | ○ |
| 480p | 60 Hz | ○ | ○ |
| 576i | 50 Hz | - | ○ |
| 576p | 50 Hz | ○ | ○ |
| 720p | 50 Hz / 60 Hz | ○ | ○ |
| 1080i | 50 Hz / 60 Hz | - | ○ |
| 1080p | 24 Hz | - | ○ |
| 1080p | 50 Hz / 60 Hz | ○ | ○ |

・音声信号

- 2chリニアPCM（32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz）

2-2. 解像度を設定する

モニターをコンピュータに接続したときに適切な解像度で表示されない場合、または解像度を変更したい場合は、次の手順で解像度を変更します。

Windows 8 / Windows 7の場合

1. Windows 8の場合、スタート画面から「デスクトップ」のタイルをクリックして、デスクトップを表示します。
2. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
3. 表示されるメニューから「画面の解像度」をクリックします。
4. 「画面の解像度」ダイアログボックスで、モニターを選択します。
5. 「解像度」をクリックして変更したい解像度を選択します。
6. 選択したら、[OK] ボタンをクリックします。
7. 確認のダイアログボックスが表示されるので、[変更を維持する] ボタンをクリックします。

Windows Vistaの場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。
3. 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
4. 「画面の設定」ダイアログボックスで「モニタ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、[OK] ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、[はい] ボタンをクリックします。

Windows XPの場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
3. 「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されるので、「設定」タブをクリックし、「ディスプレイ」の「画面の解像度」で解像度を選択します。
4. 選択したら、[OK] ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

Mac OS Xの場合

1. アップルメニューの「システム環境設定」をクリックします。
2. 「システム環境設定」ダイアログボックスが表示されるので、「ハードウェア」欄の「ディスプレイ」をクリックします。
3. 表示されたダイアログボックスで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
4. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

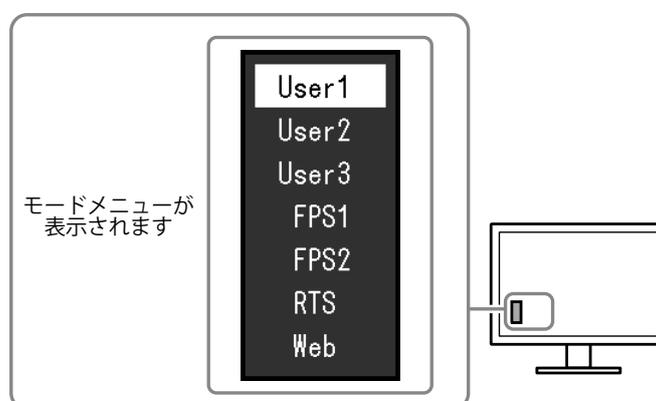
2-3. カラーを調整する

● 表示モード（カラーモード）を選択する

モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

モードの種類

| モード | 目的 |
|-------|-----------------------|
| User1 | 好みに応じた設定をおこなう際に選択します。 |
| User2 | |
| User3 | |
| FPS1 | FPSゲームの表示に適しています。 |
| FPS2 | |
| RTS | RTSゲームの表示に適しています。 |
| Web | Webブラウザの表示に適しています。 |



設定方法

1. MODEを押します。
モードメニューが画面左下に表示されます。
2. MODEを押すたびにモードが順に切り替わり表示されます。
モードメニュー表示中は、▼または▲を押してモードを切り替えることもできます。

→User1←→User2←→User3←→FPS1←→FPS2←→RTS←→Web←

参考

- ・設定メニューとモード名を同時に表示させることはできません。
- ・G-Ignitionを使うと、使用するソフトウェアに合わせて、カラーモードが自動的に切り替わります。詳細は、G-Ignitionの取扱説明書を参照してください。

● 詳細な調整をする

設定メニューの「カラー調整」で、モードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

注意点

- ・ 製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。
- ・ モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせる時は、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- ・ G-Ignitionを使うと、マウスとキーボードの操作でカラー調整をおこなうことができます。また、調整状態をファイルに保存したり、読み込むこともできます。詳細は、G-Ignitionの取扱説明書を参照してください。

● 各モードの調整項目

モードの種類により、調整できる機能が異なります。（調整/設定できない機能は選択できません。）

各機能の設定方法については、次ページ以降を参照してください。

○：調整可 —：調整不可

| 機能名 | カラーモード | | | |
|---------|-------------------------|--------------|-----|-----|
| | User1 User2 User3 | FPS1 FPS2 | RTS | Web |
| ブライトネス | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 黒レベル | ○ | ○ | ○ | ○ |
| コントラスト | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 色温度 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ガンマ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 詳細設定 | ゲイン | — | — | — |
| | コントラスト拡張 | ○ | ○ | ○ |
| | Turbo 240 | ○ | — | ○ |
| カラーリセット | ○ | ○ | ○ | ○ |

● ブライトネス（明るさ）を調整する

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0～100

設定方法

1. ▲/※ を押します。
ブライトネスメニューが表示されます。
2. ▼または▲で設定します。
3. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- ・ブライトネスの値が同じでも「Turbo 240」の設定によって画面の明るさが異なります。「Turbo 240」を「オン」にすると、画面が暗くなります（「動画のボケを軽減する」（P.18）参照）。

参考

- ・ブライトネスが0でも画面が明るいと感じた場合、またはブライトネスが100でも暗いと感じた場合はコントラスト調整をおこなってください。
 - ・設定メニューの「カラー」→「ブライトネス」で調整することもできます。
-

● 黒の明るさと色を調整する

黒の明るさを調整します。黒いテストパターンまたは背景を表示して黒レベルを調整してください。

設定範囲

0～100

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「黒レベル」を選択し、ENTER を押します。
「黒レベル」が表示されます。
3. ▼または▲で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- ・黒レベル調整後は、必要に応じてコントラストを再調整してください。
-

● コントラストを調整する

ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0~100

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTERを押します。
2. 「カラー調整」で「コントラスト」を選択し、ENTERを押します。
「コントラスト」が表示されます。
3. ▼または▲で設定します。
4. 設定が完了したらENTERを押します。

参考

- 50ですべての色階調を表示します（PC信号入力のみ）。
 - 画面の明るさは、初めに、階調特性を損なうことのないブライトネスで調整することをお勧めします。
 - コントラスト調整は次のような場合に使用してください。
 - ブライトネスが100でも画面が暗いと感じたとき。（コントラストを50以上に設定します。）
 - ブライトネスが0でも画面が明るいと感じたとき。（コントラストを50以下に設定します。）
-

● 色温度を調整する

色温度を調整します。

通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。

炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

設定範囲

オフ、5000K、6500K、8000K、9300K

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTERを押します。
2. 「カラー調整」で「色温度」を選択し、ENTERを押します。
「色温度」が表示されます。
3. ▼または▲で設定します。
4. 設定が完了したらENTERを押します。

参考

- 「K」表示は調整の目安としてご利用ください。
 - 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です（「[ゲインを調整する](#)」（P.17）参照）。
 - 「オフ」でパネル本来の色（ゲインの値はRGB各100）になります。
 - ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。
-

● ガンマを調整する

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

設定範囲

| 設定値 | 目的 |
|-----------------------------------|---|
| 1.8、2.0、2.2、2.4、2.6 | ガンマ値を設定します。 |
| FPS (High)、FPS (Middle)、FPS (Low) | FPSゲームの表示に適しており、画面の低階調部を明るくします。「FPS (High)」が最も明るい設定になります。 |
| RTS | RTSゲームの表示に適しています。 |
| Power | 中間階調のコントラストを強調したメリハリのある画像になります。 |

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTERを押します。
2. 「カラー調整」で「ガンマ」を選択し、ENTERを押します。
「ガンマ」が表示されます。
3. ▼または▲で設定します。
4. 設定が完了したらENTERを押します。

● ゲインを調整する

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。

設定範囲

0~100

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTERを押します。
2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、ENTERを押します。
3. 「詳細設定」で「ゲイン」を選択し、ENTERを押します。
「ゲイン」が表示されます。
4. 赤、緑、青それぞれの値を▼または▲で設定します。
5. 設定が完了したらENTERを押します。

注意点

- ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- ・色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
- ・ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。

● コントラスト拡張の強調度合いを設定する

画像の明暗やシーンの変化に応じて、コントラストを自動的に調整することができます。その調整の強さを設定します。

設定範囲

強、普通、オフ

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「詳細設定」で「コントラスト拡張」を選択し、ENTER を押します。
「コントラスト拡張」が表示されます。
4. ▼または▲で設定します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

● 動画のボケを軽減する

動画を表示しているときに生じる画像のぼやけ（動画ボケ）を軽減できます。

動画ボケは、画面（フレーム）を切り替えるときの液晶の変化が目映ることによって生じます。

「Turbo 240」を「オン」にすると、液晶の動きに合わせてバックライトが点滅し^{※1}、液晶の変化を見せないようにするため、ボケの少ないくっきりとした画像を見ることができます。

※1 この製品は、120Hzの入力信号を内部で240Hzに変換して、1フレームにつき2回画像を更新しています。1回目の表示で画面が更新され、2回目の表示で画面が正しく表示されます。「Turbo 240」を「オン」にすると、1回目の表示時はバックライトを消灯します。

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「詳細設定」で「Turbo 240」を選択し、ENTER を押します。
「Turbo 240」が表示されます。
4. ▼または▲で「オン」または「オフ」を選択し、ENTER を押します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- ・Turbo 240の設定を変更するときに画面が1秒程度表示されなくなります。
- ・バックライトを点滅させるため、画面のちらつきを感じ、目が疲れやすくなる場合があります。その場合は、設定を「オフ」にしてください。
- ・「Turbo 240」を「オン」にすると、「オフ」にするときより輝度が低くなります。
- ・カラーモードが「FPS1」または「FPS2」の場合、「Turbo 240」は「オン」に固定されます。
- ・カラーモードが「Web」の場合、「Turbo 240」は「オフ」に固定されます。

参考

- ・Turbo 240設定は「インフォメーション」画面に表示されます。詳細は、「[7-4. モニター情報を表示する](#) (P.39)」を参照してください。

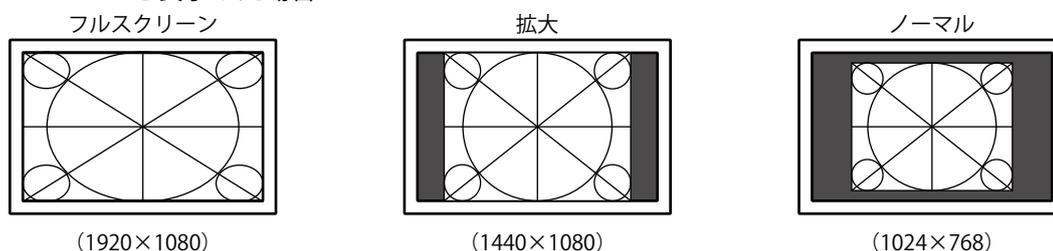
2-4. 画面サイズの切り替え

● 画面サイズを切り替える

推奨解像度以外の解像度は、自動的に画面全体に拡大されますが、「画面サイズ」機能を使用して表示サイズを切り替えることができます。

| 設定 | 機能 |
|---------|--|
| 自動 | 外部機器から送信されてくるアスペクト比情報と解像度情報に応じて、自動的に表示サイズを切り替えます。HDMI（ビデオ信号）入力時に選択できます。 |
| フルスクリーン | 画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。 |
| 拡大 | 縦横の拡大比率を維持したまま可能な限り画面全体に画像を拡大して表示します。縦横の拡大比率を維持するため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。 |
| ノーマル | 設定した解像度のままの大きさとで画像が表示されます。 |

例：1024×768を表示した場合



設定方法

1. 設定メニューの「画面調整」を選択し、ENTERを押します。
2. 「画面調整」で「画面サイズ」を選択し、ENTERを押します。
「画面サイズ」が表示されます。
3. ▼または▲で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

● 文字や線のぼやけを直す

推奨解像度以外の解像度で表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。

注意点

- ・表示解像度によってはスムージングの設定をする必要はありません。（スムージングアイコンを選択することはできません。）

設定範囲

1～5

設定方法

1. 設定メニューの「画面調整」を選択し、ENTERを押します。
2. 「画面調整」で「スムージング」を選択し、ENTERを押します。
「スムージング」が表示されます。
3. ▼または▲で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

2-5. カラースペースの設定

● カラースペースを設定する

入力された信号のカラースペースを指定できます。正しい色が表示できない場合に「自動」以外に設定します。

○：設定可 ー：設定不可

| 設定 | 機能 | DisplayPort | DVI-D | HDMI (PC信号) | HDMI (ビデオ信号) |
|-------------|--|-------------|-------|-------------|--------------|
| 自動 | 入力信号のカラースペースを自動的に判別します（推奨）。 | ○ | ー | ー | ○ |
| YUV | 入力信号のカラースペースをYUVとして扱います。「自動」に設定していると画面の色がおかしい場合に選択します。 | ○ | ー | ー | ー |
| YUV 4:2:2 | 入力信号のカラースペースを、YUV 4:2:2として扱います。「自動」に設定していると画面の色がおかしいときに選択します。 | ー | ー | ○ | ○ |
| YUV 4:4:4 | 入力信号のカラースペースを、YUV 4:4:4として扱います。「自動」に設定していると画面の色がおかしいときに選択します。 | ー | ー | ○ | ○ |
| RGBフルレンジ | 入力信号のカラースペースを、RGB (0~255) として扱います。「自動」に設定していると画面の色がおかしいときに選択します。 | ○ | ○※1 | ○ | ○ |
| RGBリミテッドレンジ | 入力信号のカラースペースを、RGB(16~235)として扱います。「自動」に設定していると画面の色がおかしいときに選択します。 | ○ | ー | ○ | ○ |

※1 DVI入力のカラースペースは常に「RGBフルレンジ」となります。

設定方法

1. 設定メニューの「画面調整」を選択し、ENTERを押します。
2. 「画面調整」で「カラースペース」を選択し、ENTERを押します。
「カラースペース」が表示されます。
3. ▼または▲で設定します。
4. 設定が完了したらENTERを押します。

注意点

- ・ DVI-HDMI変換コネクタを使用してDVI機器をモニターのHDMIコネクタに接続している場合、設定が必要です。
- ・ 「自動」に設定した場合でも、正しく表示できない場合があります。その場合は、正しく画面が表示される設定に変更してください。

第3章 モニターを設定する

3-1. サウンドを設定する

● 音源を選択する

DisplayPortケーブルおよびHDMIケーブルは、映像信号とあわせて音声信号も伝送します。音声信号をこれらのケーブルから入力するのか、ステレオミニジャックケーブルを使って入力するのかを選択します。

設定範囲

- ・ DisplayPort信号入力時：DisplayPort、ステレオミニジャック
- ・ HDMI（ビデオ信号）入力時：HDMI、ステレオミニジャック

設定方法

1. 設定メニューの「サウンド設定」を選択し、ENTERを押します。
2. 「サウンド設定」で「音源」を選択し、ENTERを押します。
「音源」が表示されます。
3. ▼または▲で設定します。
4. 設定が完了したらENTERを押します。

参考

- ・ 次の場合は「ステレオミニジャック」に固定され、変更できません。
 - DVI-D信号入力時
 - DVI-HDMI変換ケーブルを使用しているとき
-

● 音量を調整する

ヘッドホンの音量を調整することができます。

設定範囲

0～30

設定方法

1. ▼/🔊を押します。
ボリューム調整画面が表示されます。
2. ▼または▲で設定します。
3. 設定が完了したらENTERを押します。

注意点

- ・ ライン出力コネクタにアンプ内蔵スピーカーを接続している場合、音量は外部スピーカー側で操作してください。モニターの本体操作ボタンでは操作できません。
-

● 音声のレベルを調整する

入力する音声のレベルを調整します。

外部機器の平均的な音声レベルが異なるため、入力によって音量差が生じることがあります。レベルを調整することで、音量差を軽減することができます。

設定範囲

-1~1

設定方法

1. 設定メニューの「サウンド設定」を選択し、ENTERを押します。
2. 「サウンド設定」で「音声レベル」を選択し、ENTERを押します。
「音声レベル」が表示されます。
3. ▼または▲で設定します。
4. 設定が完了したらENTERを押します。

注意点

- ・ この機能は、ヘッドホンへの音声に対して働きます。

参考

- ・ 例えば、PC1とPC2で音量差が大きくなったときは、音量が小さいほうの「音声レベル」の設定を上げると、音量差を軽減できます。
-

3-2. 電源ランプの表示を設定する

画面表示時の電源ランプ（青）の点灯/消灯の切り替えができます。

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
2. 「本体設定」で「電源ランプ」を選択し、ENTERを押します。
「電源ランプ」が表示されます。
3. ▼または▲で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したらENTERを押します。

3-3. 背面のロゴ表示を設定する

背面LEDの点灯/消灯の切り替えができます。

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
2. 「本体設定」で「背面LED」を選択し、ENTERを押します。
「背面LED」が表示されます。
3. ▼または▲で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したらENTERを押します。

注意点

- ・ 電源ボタンを押して電源を切ったときや省電力モードのときは背面LEDは消灯します。
-

3-4. 表示言語を設定する

設定メニューやメッセージの表示言語が選択できます。

選択できる言語

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、日本語、中国語（簡体）、中国語（繁体）

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
2. 「本体設定」で「言語選択」を選択し、ENTERを押します。
「言語選択」が表示されます。
3. ▼または▲で言語を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

3-5. EIZOロゴを表示/非表示にする

この製品の電源を入れたときに、EIZOロゴが表示されます。このロゴの表示/非表示の切り替えができます。

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
2. 「本体設定」で「メニュー設定」を選択し、ENTERを押します。
3. 「メニュー設定」で「起動ロゴ」を選択し、ENTERを押します。
「起動ロゴ」が表示されます。
4. ▼または▲で「オン」または「オフ」を選択します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

3-6. 設定メニューの位置を変更する

設定メニューの表示位置を移動できます。

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
2. 「本体設定」で「メニュー設定」を選択し、ENTERを押します。
3. 「メニュー設定」で「メニューポジション」を選択し、ENTERを押します。
「メニューポジション」が表示されます。
4. ▼または▲で位置を選択します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

3-7. 操作ボタンをロックする

本体操作ボタンでの操作をロックします。

設定方法

1. **⏻**を押して、モニターの電源を切ります。
2. **SIGNAL**を押しながら**⏻**を押してモニターの電源を入れます。
操作を実行するたびにロック/ロック解除が切り替わります。

参考

- ロックした状態でも次の操作は可能です。
- 電源ボタンによる電源オン/オフ

3-8. HDMI信号入力時の認証方法を切り替える

ご使用の外部機器によっては機器間の認証が正常におこなわれず、画面が表示されない場合があります。その場合は、次の手順で認証方法切り替えてください。

設定方法

1. **⏻**を押して、モニターの電源を切ります。
2. **▼**を押しながら**⏻**を押してモニターの電源を入れます。
認証方法が切り替わり、モニターの電源が入ります。

参考

- 設定メニューの「インフォメーション」のメニュータイトルに「x」が表示されます。設定を元に戻す場合は、手順1~2を再度実行します。
例：



3-9. 初期設定に戻す

リセットには、カラー調整のみを初期設定に戻すカラーリセットと、すべての設定内容を初期設定に戻すオールリセットの2種類があります。

注意点

- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

参考

- 初期値については、「[主な初期設定値](#)」(P.41)を参照してください。

● カラー調整値をリセットする

現在選択しているモードのカラー調整値のみを初期設定に戻します。

設定方法

- 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTERを押します。
- 「カラー調整」で「カラーリセット」を選択し、ENTERを押します。
- ▼または▲で「はい」を選択します。
- ENTERを押します。

カラー調整値が初期設定になります。

● すべての設定内容をリセットする

すべての設定内容を初期設定に戻します。

注意点

- HDMI信号入力時の認証方法（「[3-8. HDMI信号入力時の認証方法を切り替える](#)」(P.24)）は、リセットを実行しても初期設定には戻りません。

設定方法

- 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
- 「本体設定」で「リセット」を選択し、ENTERを押します。
- ▼または▲で「はい」を選択します。
- ENTERを押します。

すべての設定内容が初期設定になります。

第4章 省電力機能について

4-1. パワーセーブを設定する

● モニター

外部機器の状態と連動してモニターを省電力モードにする/しないの切り替えができます。省電力モードに移行すると画面を非表示にします。

注意点

- ・ 主電源を切るか、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- ・ モニターが省電力モードの場合、USBダウンストリームポートに接続している機器は動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- ・ ステレオミニジャックケーブルが接続されている場合も消費電力は変化します。

参考

- ・ 信号が入力されなくなったことを検出してから、約15秒後に省電力モードに移行します。

設定方法

1. 設定メニューの「PowerManager」を選択し、ENTERを押します。
2. 「PowerManager」で「パワーセーブ」を選択し、ENTERを押します。
「パワーセーブ」が表示されます。
3. ▼または▲で「有効」または「無効」を選択します。
4. 設定が完了したらENTERを押します。

省電力の流れ

外部機器がコンピュータの場合

DisplayPort信号入力時

「DisplayPort Standard v1.1a」に準拠しています。

DVI信号入力時

「DVI DMPM」に準拠しています。

| コンピュータの状態 | モニターの状態 | 電源ランプ |
|-----------|------------|-------|
| オン | オペレーションモード | 青 |
| 省電力モード | 省電力モード | 橙 |
| 電源オフ | 省電力モード | 橙 |

外部機器がコンピュータ以外の場合

| 外部機器の状態 | モニターの状態 | 電源ランプ |
|---------|------------|-------|
| 電源オン | オペレーションモード | 青 |
| 電源オフ | 省電力モード | 橙 |

省電力モードからの復帰方法

モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。

4-2. モニターの自動明るさ調整を設定する

Auto EcoView（オートエコビュー）を使用すると、外光センサーが周囲の明るさを検知し、自動的に画面の明るさを調整します。

注意点

- Auto EcoView機能を使用する場合はセンサーをふさがないように注意してください。
-

設定範囲

強、標準、オフ

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTERを押します。
 2. 「本体設定」で「Auto EcoView」を選択し、ENTERを押します。
「Auto EcoView」が表示されます。
 3. ▼または▲で「強」/「標準」/「オフ」のいずれかを選択します。
 4. 設定が完了したらENTERを押します。
-

参考

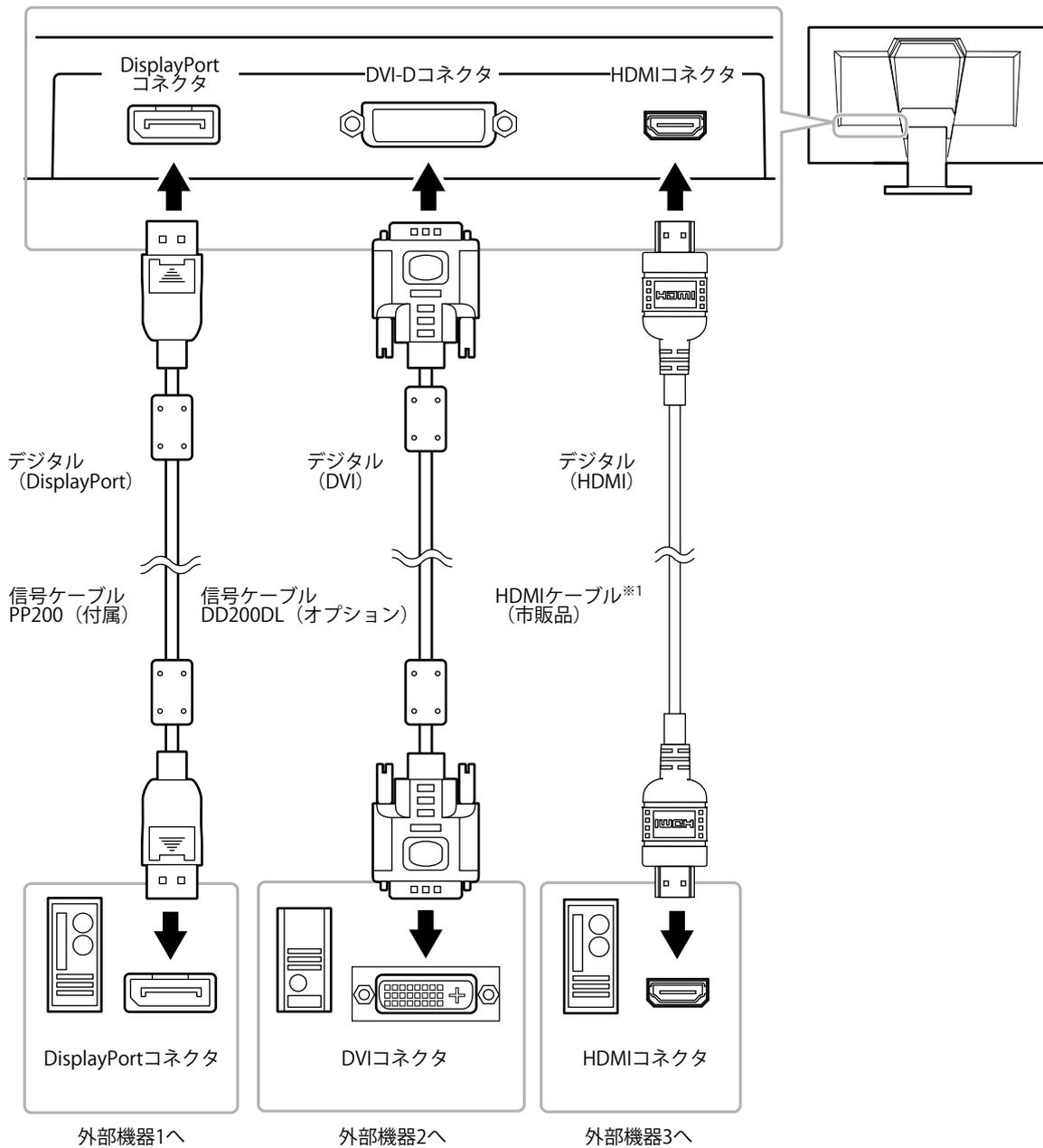
- 「標準」の設定で画面が明るく感じるときに「強」にしてください。
-

第5章 接続する

5-1. 複数の外部機器を接続する

この製品は、複数の外部機器を接続し、切り替えて表示することができます。

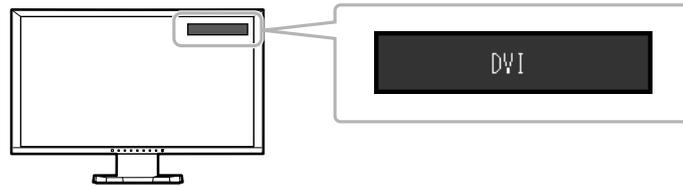
接続例



※1 High Speed対応品をご使用ください。

● 入力信号を切り替える

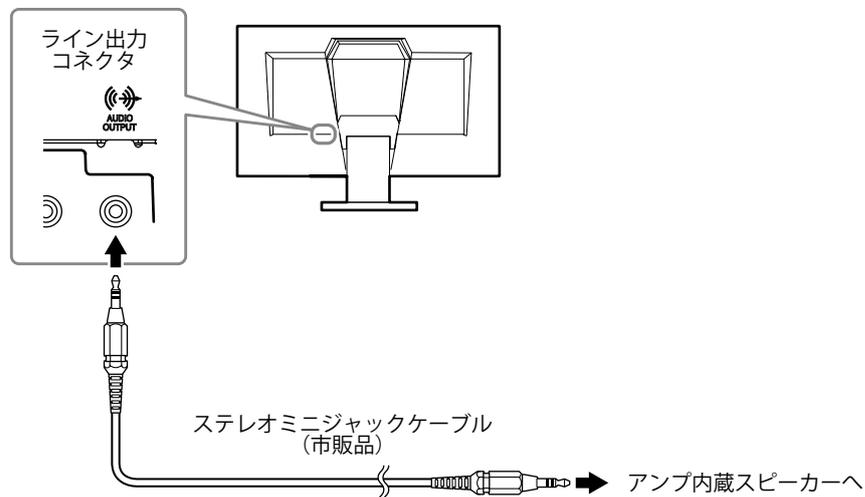
SIGNAL を押すたびに入力信号が切り替わります。
画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。



5-2. 外部スピーカーを接続する

この製品にアンプ内蔵のスピーカーを接続して、コンピュータやゲームなどの外部機器からの音声を出力することができます。

接続例



注意点

- 音量は外部スピーカー側で操作してください。モニターの本体操作ボタンでは操作できません。
- アンプ内蔵スピーカーを接続した状態で、モニターにヘッドホンを接続すると、アンプ内蔵スピーカーから音声がなくなります。

第6章 こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、EIZOコンタクトセンターまたはEIZOサポートにご相談ください。

6-1. 画面が表示されない場合

| 症状 | 原因と対処方法 |
|---|---|
| 1. 画面が表示されない <ul style="list-style-type: none">電源ランプが点灯しない | <ul style="list-style-type: none">電源コードは正しく接続されていますか。主電源を入れてください。主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。 |
| <ul style="list-style-type: none">電源ランプが点灯：青色 | <ul style="list-style-type: none">設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください（「詳細な調整をする」(P.14) 参照）。 |
| <ul style="list-style-type: none">電源ランプが点灯：橙色 | <ul style="list-style-type: none">信号ケーブルは正しく接続されていますか。外部機器の電源は入っていますか。マウス、キーボードを操作してみてください。入力信号を切り替えてみてください。外部機器をHDMIポートに接続している場合は、認証方法を切り替えてみてください。いったん電源を切り、▼を押しながら入れてみてください。 |
| 2. 次のようなメッセージが表示される | この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。 |
| 例：  | <ul style="list-style-type: none">入力されている信号が仕様範囲外であることを示す表示です。コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「2-1. 対応解像度/対応フォーマット」(P.11) 参照）。コンピュータを再起動してみてください。グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。 |

6-2. 画面に関する症状

| 症状 | 原因と対処方法 |
|---------------------------------------|---|
| 1. 画面が明るすぎる/暗すぎる | <ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」を調整してください（「詳細な調整をする」(P.14) 参照）。（液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、EIZOサポートにご相談ください。） 画面が明るすぎる場合は、Auto EcoView（オートエコビュー）をオンにしてみてください（「4-2. モニターの自動明るさ調整を設定する」(P.27) 参照）。周囲の明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。 |
| 2. 文字がぼやけて見える | <ul style="list-style-type: none"> コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「2-1. 対応解像度/対応フォーマット」(P.11) 参照）。 推奨解像度以外の解像度で表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。設定メニューの「スムージング」および「画面サイズ」で調整してみてください（「文字や線のぼやけを直す」(P.19)、画面サイズを切り替える」(P.19) 参照）。 |
| 3. 残像が現れる | <ul style="list-style-type: none"> この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。 |
| 4. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る | <ul style="list-style-type: none"> これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。 |
| 5. 画面上に干渉縞が見られる/パネルを押した跡が消えない | <ul style="list-style-type: none"> 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。 |
| 6. 画面にノイズが現れる | <ul style="list-style-type: none"> HDCPの信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。 |
| 7. 画面が白っぽい、黒っぽい | <ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「黒レベル」（「黒の明るさと色を調整する」(P.15) 参照）、「コントラスト」（「コントラストを調整する」(P.16) 参照）で調整してみてください。 |
| 8. 画面の色がおかしい（DisplayPort、HDMI入力時） | <ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「画面調整」-「カラースペース」で映像信号のカラースペース（色空間）を変更してみてください。 |
| 9. 画面が点滅する（HDMI入力時） | <ul style="list-style-type: none"> HDMIケーブルのカテゴリにより伝送できる信号が異なります。ケーブルがHigh Speedに対応しているか確認してください。 |
| 10. 画面が白っぽい、黒っぽい（DisplayPort、HDMI入力時） | <ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「画面調整」-「カラースペース」で調整してみてください。 |

| 症状 | 原因と対処方法 | | | | | | | | | |
|---|--|----------------------|-------|-------|--------------|-------------|----------------------|----|-------------|----------------------|
| <p>11. マルチモニター環境でシングル表示に変更される (DisplayPort入力時) /省電力モードから復帰しない (DVI、HDMI入力時)</p> | <ul style="list-style-type: none"> • DisplayPortを使用して2台のモニターを1台のコンピュータに接続している場合、1台のモニターの電源を電源ボタンで切ると、画面設定がシングルモニターの表示に変更されることがあります。 • DVI、HDMIを使用している場合、省電力モードから復帰できない場合があります。 • 次の手順を試してみてください。なお、この操作をする事で消費電力があがる場合があります。 <ol style="list-style-type: none"> 1. POWERを押して、モニターの電源を切ります。 2. ▲を押しながらPOWERを押してモニターの電源を入れます。 <p>操作を実行するたびにこの機能の有効/無効が切り替わります。</p> <p>入力ポートや信号エラーの表示の配色によって、現在の設定状態を判断することができます。</p> <table border="1" data-bbox="842 728 1441 949"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>入力ポート</th> <th>信号エラー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>無効 (出荷設定)</td> <td>DisplayPort</td> <td>DisplayPort 信号エラー</td> </tr> <tr> <td>有効</td> <td>DisplayPort</td> <td>DisplayPort 信号エラー</td> </tr> </tbody> </table> | 設定 | 入力ポート | 信号エラー | 無効 (出荷設定) | DisplayPort | DisplayPort 信号エラー | 有効 | DisplayPort | DisplayPort 信号エラー |
| 設定 | 入力ポート | 信号エラー | | | | | | | | |
| 無効 (出荷設定) | DisplayPort | DisplayPort 信号エラー | | | | | | | | |
| 有効 | DisplayPort | DisplayPort 信号エラー | | | | | | | | |

6-3. その他の症状

| 症状 | 原因と対処方法 |
|---|---|
| 1. 設定メニューにおいて、「画面調整」の「スムージング」が選択できない | <ul style="list-style-type: none"> 次の表示解像度や設定の場合は、スムージングを選択することができません。 <ul style="list-style-type: none"> - 解像度が1920×1080の場合 - 画面サイズが「ノーマル」の場合 |
| 2. 音が出ない | <ul style="list-style-type: none"> ステレオミニジャックケーブルは正しく接続されていますか。 外部機器および音声を再生しているソフトウェアの設定を確認してください。 DisplayPortおよびHDMI入力時は外部機器および設定メニューの「音源」の設定を確認してみてください（「音源を選択する」(P.21) 参照）。 ヘッドホンの場合 <ul style="list-style-type: none"> - 音量が「0」になっていませんか。 ライン出力コネクタに接続したアンプ内蔵スピーカーの場合 <ul style="list-style-type: none"> - ヘッドホンを接続していませんか。 |
| 3. ライン出力コネクタに接続したアンプ内蔵スピーカーの音量が調整できない | <ul style="list-style-type: none"> この製品では外部スピーカーの音量を調整することはできません。音量は外部スピーカー側で調整してください。 |
| 4. 設定メニューが表示できない | <ul style="list-style-type: none"> 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「3-7. 操作ボタンをロックする」(P.24) 参照）。 |
| 5. モードメニューが表示できない | <ul style="list-style-type: none"> 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「3-7. 操作ボタンをロックする」(P.24) 参照）。 |
| 6. USBケーブルで接続したモニターが認識されない/モニターに接続しているUSB周辺機器が動作しない | <ul style="list-style-type: none"> USBケーブルは正しく接続されていますか（「7-3. USB (Universal Serial Bus) の活用について」(P.37) 参照）。 別のUSBポートに差し替えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、エイゾーサポートにご相談ください。（詳細はコンピュータの取扱説明書を参照してください。） コンピュータを再起動してみてください。 直接コンピュータと周辺機器を接続してみて、周辺機器が正しく動作した場合は、お買い求めの販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。 ご使用のコンピュータおよびOSがUSBに対応しているかご確認ください。（各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください。） Windowsをご使用の場合、コンピュータに搭載されているBIOSのUSBに関する設定をご確認ください。（詳細はコンピュータの取扱説明書を参照してください。） |

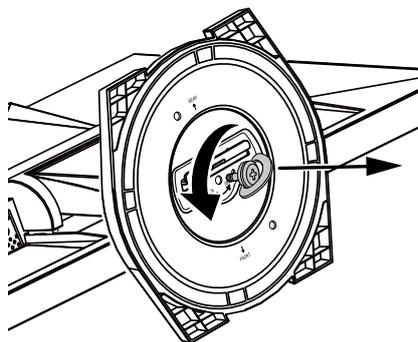
第7章 ご参考に

7-1. スタンドベースの取外方法/取付方法

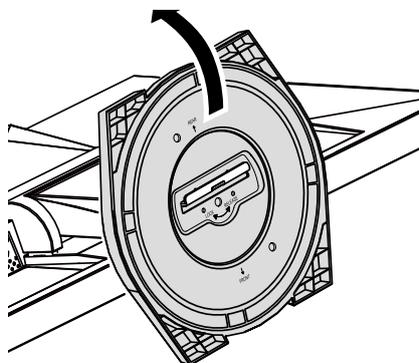
取外方法

セットアップ時に取り付けしたスタンドベースは、次の手順で取り外すことができます。

1. パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。
2. スタンドベースを固定しているねじを「RELEASE」の方向に回して外します。



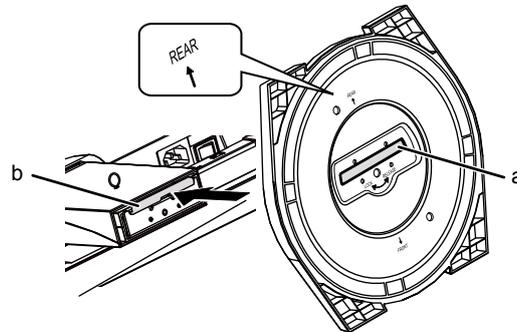
3. スタンドベースを上を持ち上げるようにして外します。



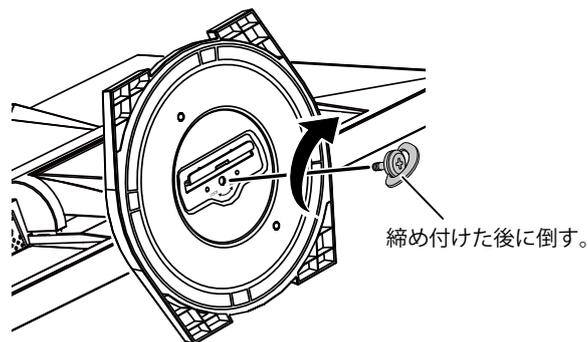
取付方法

いったん取り外したスタンドベースは、次の手順で再度モニター本体に取り付けることができます。

1. パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。
2. スタンドベースを図のように「REAR」の文字を上にして持ち、スタンドベースの穴 (a) にモニター本体底面のツメ (b) をはめ込みます。



3. 付属のねじを「LOCK」の方向に回して、スタンドベースを固定します。
ねじは最後までしっかりと締め付けてください。



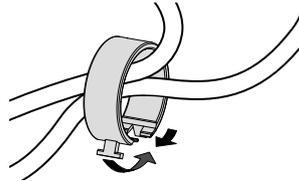
4. モニターを安定した場所に置きます。

7-2. ケーブルホルダーの取付方法/取外方法

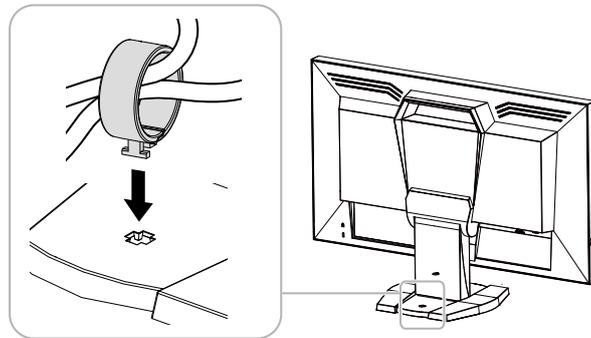
この製品にはケーブルホルダーが付属しています。モニターに接続したケーブル類を配線する際に利用してください。

取付方法

1. ケーブルホルダーにケーブルを通します。
2. ケーブルホルダーの下部を締めます。

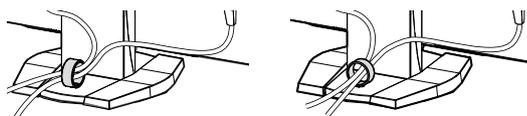


3. その状態のまま、スタンドベースに差し込みます。



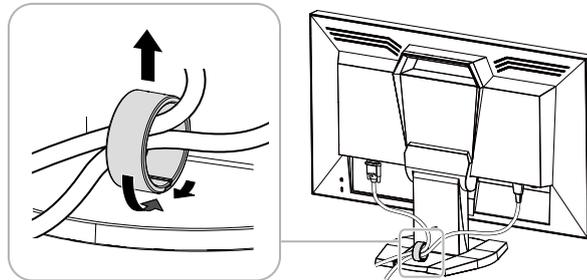
参考

- ケーブルホルダーは縦、横のどちらの方向にも差し込むことができます。ケーブルの配線状況に応じて、ケーブルホルダーの向きを変えてください。



取外方法

1. ケーブルホルダーの下部を締めます。
2. その状態のまま、スタンドベースからケーブルホルダーをまっすぐ上に抜き取ります。



7-3. USB (Universal Serial Bus) の活用について

この製品はUSBハブを搭載しています。USB対応のコンピュータに接続することにより、この製品がUSBハブとして機能し、USBに対応している周辺機器と接続できます。

● 必要なシステム環境

- USBポートを搭載したコンピュータ
- Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista / Windows XP / Windows 2000またはMac OS X 10.2以降およびMac OS 9.2.2
- EIZO USBケーブル (MD-C93)

■ 注意点

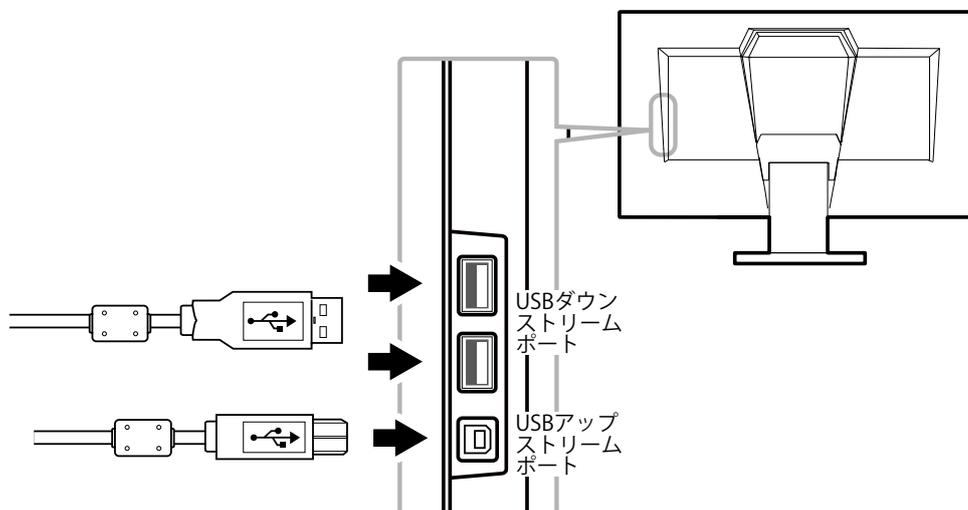
- 使用するコンピュータ、OSおよび周辺機器によっては動作しない場合があります。各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください。
- モニターが省電力モードの場合、USBダウンストリームポートに接続している機器は動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- 主電源スイッチオフ時、USBダウンストリームポートに接続されている機器は動作しません。

● 接続方法（USB機能のセットアップ方法）

1. はじめにコンピュータとモニターを信号ケーブルで接続し、コンピュータを起動しておきます。
2. USB対応のコンピュータのUSBダウンストリームポートとモニターのUSBアップストリームポートをUSBケーブルで接続します。

USBケーブルの接続により自動的にUSBのハブ機能がセットアップされます。

3. USB対応の周辺機器をモニターのUSBダウンストリームポートに接続します。



7-4. モニター情報を表示する

製品名、製造番号、使用時間、解像度、入力信号、Turbo 240 設定 (P.18)、電力削減量、CO₂削減量、省エネレベルを表示します。

設定方法

1. 設定メニューの「インフォメーション」を選択し、ENTER を押します。
「インフォメーション」が表示されます。

| インフォメーション (DVI) | |
|---------------------|---|
| FORIS F62421 | S/N: 00000001 |
| 使用時間 (h) | 0 |
| 入力信号 | 1920x1080 |
| | fH: 67.5kHz |
| | fV: 60.0 Hz |
| | fD: 148.5MHz |
| Turbo 240 | オン |
| 電力削減量 | ** W |
| CO ₂ 削減量 | * g |
| 省エネレベル |  |

注意点

- 工場での検査のため、最初にモニターの電源を入れたときに使用時間が「0」ではない場合があります。

参考

- 省エネレベルを表すインジケータが多く点灯するにつれ、省電力の度合いが高くなります。
- 電力削減量：ブライトネスの調整値に応じた、バックライト消費電力の低減量です。
CO₂削減量：電力削減量から換算した、モニターを1時間使用した場合に削減できるCO₂排出量の目安です。
※数値は「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令（平成18年経済産業省環境省令第3号）に定める初期設定値（0.000555t-CO₂/kWh）」を元に算出しており、国、年度などによって変わる可能性があります。

7-5. 仕様

| | | |
|--|-------------------------------------|---|
| 液晶パネル | サイズ | 59.8cm (23.5) 型 |
| | 種類 | カラーTFT、VA、LEDバックライト |
| | 表面処理 | アンチグレア、ハードコーティング |
| | 表面硬度 | 3H |
| | 視野角 | 水平：176°、垂直：176° (CR≥10) |
| | ドットピッチ | 0.2715mm |
| | 応答速度 | 黒←→白： 約5ms (Turbo 240「オン」時：1ms未満※1) |
| | コントラスト比 | 5000：1 (コントラスト拡張設定「強」時 15000：1) |
| 解像度 | | 1920ドット×1080ライン |
| 表示サイズ (水平×垂直) | | 521.2mm×293.2mm |
| 最大表示色 | | 約1677万色 |
| 映像 | 垂直走査周波数 | DisplayPort： 49～122Hz (ノンインターレース) |
| | | DVI： 59～122Hz (ノンインターレース) |
| | | HDMI： 23～122Hz |
| | 水平走査周波数 | DisplayPort： 31～138kHz |
| | | DVI： 31～138kHz |
| | | HDMI： 15～100kHz |
| | ドットクロック (最大) | DisplayPort： 290MHz |
| | | DVI： 290MHz |
| | | HDMI： 150MHz |
| | ビデオ信号 対応フォーマット | DisplayPort： VGA / 480p / 720p / 1080p：60Hz 576p / 720p / 1080p：50Hz |
| HDMI： VGA / 480i / 480p / 720p / 1080i / 1080p：60Hz 576i / 576p / 720p / 1080i / 1080p：50Hz 1080p：24Hz | | |
| デジタル信号 (DVI-D) 伝送方式 | TMDS (Single Link / Dual Link) | |
| 入力コネクタ | DisplayPortコネクタ (HDCP対応) ×1 | |
| | DVI-Dコネクタ (HDCP対応) ×1 | |
| | HDMI TypeA※2 (HDCP対応) ×1 | |
| 音声 | 音声信号 (DisplayPort、HDMI) 対応フォーマット | 2chリニアPCM (32kHz / 44.1kHz / 48kHz) |
| | 入力コネクタ | ライン： Φ3.5ステレオミニジャック×1 |
| | | DisplayPort×1 (映像信号と共用) |
| | | HDMI※2×1 (映像信号と共用) |
| | 出力コネクタ | ヘッドホン： Φ3.5ステレオミニジャック×1 |
| ライン： Φ3.5ステレオミニジャック×1 | | |
| プラグ&プレイ機能 | | デジタル信号 (DisplayPort) 入力時： VESA DisplayPort / EDID structure 1.4 デジタル信号 (DVI-D) 入力時： VESA DDC 2B / EDID structure 1.3 デジタル信号 (HDMI) 入力時： VESA DDC2B / E-EDID Standard release A, Revision 1 |

※1 モニターとしての応答速度です。

※2 HDMI CEC機能 (相互制御機能) には対応していません。

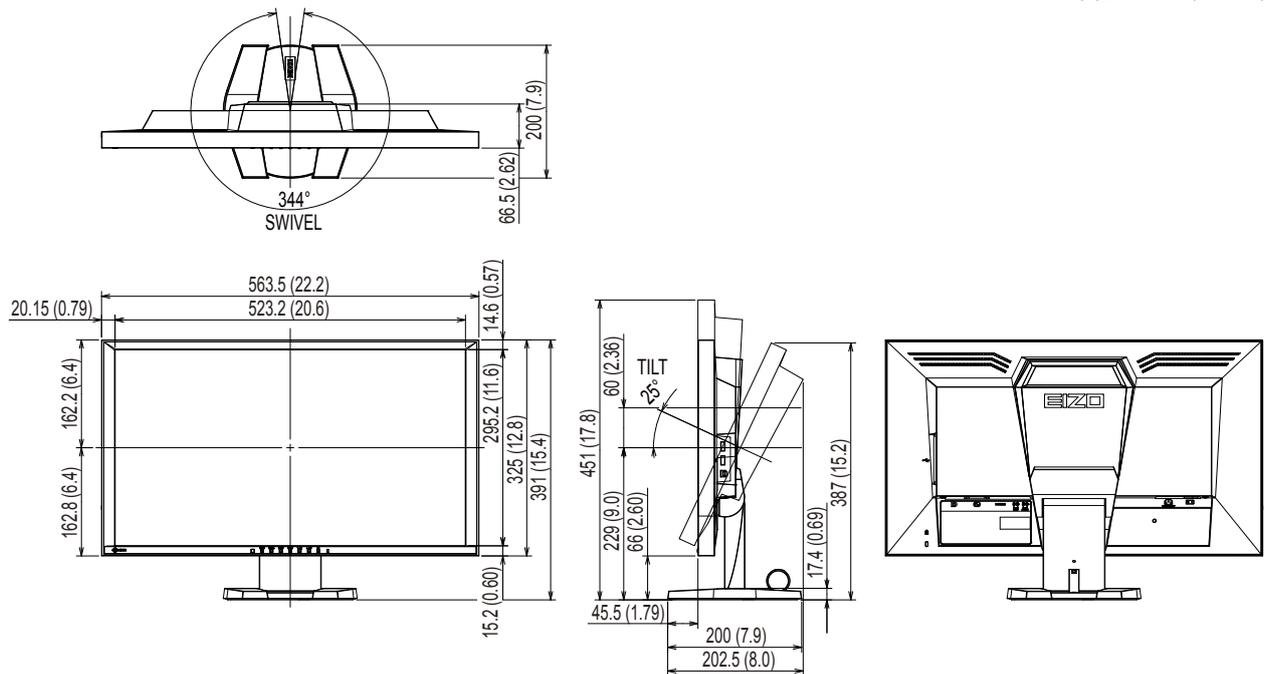
| | | |
|-----------------------|---------|---|
| 電源 | | AC100V±10%、50/60Hz、0.6A |
| 消費電力 | 画面表示時 | 53W以下 |
| | 省電力モード時 | 0.5W以下 (DisplayPort 1系統入力時、USB非接続時、ステレオミニジャックケーブル非接続時) |
| | 電源オフ時 | 0.5W以下 (USB非接続時) |
| | 主電源オフ時 | 0W |
| 寸法 (幅) × (高さ) × (奥行き) | | 563.5mm×391~451mm×200mm (チルト角度0°時) |
| 質量 | | 約6.2kg |
| 可動範囲 | | チルト角度： 上25°、下0° |
| | | スウィーベル角度： 344° |
| | | 昇降： 60mm |
| 環境条件 | 温度 | 動作温度範囲： 5°C~35°C |
| | | 輸送および保存温度範囲： -20°C~60°C |
| | 湿度 | 動作湿度範囲： 20%~80% R.H. (非結露状態) |
| | | 輸送および保存湿度範囲： 10%~90% R.H. (非結露状態) |
| | 気圧 | 動作気圧範囲： 700hPa~1060hPa |
| | | 輸送および保存気圧範囲： 200hPa~1060hPa |
| USB | 規格 | USB Specification Revision 2.0準拠 |
| | ポート | アップストリーム×1、ダウンストリーム×2 |
| | 通信速度 | 480Mbps (ハイスピード)、12Mbps (フルスピード)、1.5Mbps (ロースピード) |
| | 供給電源 | ダウンストリーム： 最大500mA/1ポート |

主な初期設定値

| | |
|-------------------------|---|
| カラーモード | FPS1 |
| 画面サイズ | DisplayPort入力時：フルスクリーン DVI-D入力時：フルスクリーン HDMI (PC信号)：フルスクリーン HDMI (ビデオ信号)入力時：自動 |
| Auto EcoView (オートエコビュー) | オフ |
| スムージング | 3 |
| 音声レベル | 0 |
| パワーセーブ | オン |
| 操作ロック | オフ |
| 起動ロゴ | オン |
| 背面LED | オン |
| 電源ランプ | オン |
| 言語選択 | 日本語 |

外観寸法

単位：mm（インチ）



オプション品

| | |
|---------------------------|---------------------|
| クリーニングキット | EIZO「ScreenCleaner」 |
| 信号ケーブル（DVI Dual Linkケーブル） | DD200DL |

オプション品に関する最新情報は、当社のWebサイトを参照してください。

<http://www.eizo.co.jp>

第8章 用語集

DisplayPort

VESAによって標準化された映像信号のインターフェース規格です。従来のDVIやアナログインターフェースを置き換える目的で開発され、DVIでは対応していない高解像度の信号や、音声信号を伝送することができます。また、10bitカラー、著作権保護技術、ロングケーブルなどにも対応しています。標準サイズとMiniサイズのコネクタが規格化されています。

DVI (Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。

伝送方式にTMDS、コネクタにDVIコネクタを採用しています。デジタル信号入力のみ対応のDVI-Dコネクタと、デジタル/アナログ信号入力可能なDVI-Iコネクタがあります。

DVI DMPM (DVI Digital Monitor Power Management)

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態についてはモニターオン（オペレーションモード）とアクティブオフ（省電力モード）が必須となっています。

HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection)

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。

DVIコネクタやHDMIコネクタなどを経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。

出力側と入力側の双方の機器がHDCP対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

eSports (Electronic Sports)

競技性の高いコンピュータゲーム（ビデオゲーム）でおこなわれるスポーツの新しいジャンルです。

FPS (First Person Shooter)

主人公の一人称視点でゲーム中の世界を移動し、敵と戦うシューティングゲームのことです。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface)

HDMIとは、コンピュータとモニターを接続するときのインターフェース規格の1つである「DVI」をベースにして、家電やAV機器向けに発展させたデジタルインターフェース規格です。映像や音声、制御信号を圧縮することなく、1本のケーブルで伝送することができます。

sRGB (Standard RGB)

周辺機器間（モニター、プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなど）の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

RTS (Real-time Strategy)

リアルタイムに進行する状況下で、戦略を立てながら競技するゲームのことです。

TMDS (Transition Minimized Differential Signaling)

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

VESA DPM (Video Electronics Standards Association - Display Power Management)

VESAでは、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ（グラフィックスボード）側からの信号の標準化をおこなっています。DPMはコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：Kelvin（ケルビン）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。

5000K：やや赤みがかった白色

6500K：昼光色と呼ばれる白色

9300K：やや青みがかった白色

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。この機種の場合は横1920個、縦1080個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1920×1080の解像度であれば、画像は画面全体（1対1）に表示されます。

カラースペース

色を規定し、表現するための方法。輝度（Y）と青の色差（U）、赤の色差（V）により表現するYUV、赤（R）、緑（G）、青（B）の3色の階調により表現するRGBなどがあります。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルタに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色であり、画面上に表示されるすべての色は3色の組み合わせによって構成されます。3色のフィルタに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DisplayPortコンプライアンスロゴ、VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。

Acrobat、Adobe、Adobe AIR、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。

AMD Athlon、AMD OpteronはAdvanced Micro Devices, Inc.の商標です。

Apple、ColorSync、eMac、iBook、iMac、iPad、Mac、MacBook、Macintosh、Mac OS、PowerBook、QuickTimeはApple Inc.の登録商標です。

ColorMunki、Eye-One、X-RiteはX-Rite Incorporatedの米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。

ColorVision、ColorVision Spyder2はDataColor Holding AGの米国における登録商標です。

Spyder3、Spyder4はDataColor Holding AGの商標です。

ENERGY STARは米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。

GRACoL、IDEAllianceはInternational Digital Enterprise Allianceの登録商標です。

Japan Color、ジャパンカラーは一般社団法人日本印刷産業機械工業会および一般社団法人日本印刷学会の日本登録商標です。

JMPAカラーは社団法人日本雑誌協会の日本登録商標です。

NECは日本電気株式会社の登録商標です。

PC-9801、PC-9821は日本電気株式会社の商標です。

NextWindowはNextWindow Ltd.の商標です。

Intel、Intel Core、Pentium、Thunderboltは米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。

PowerPCはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。

PlayStation、PS3、PSP、プレイステーションは株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

RealPlayerはRealNetworks, Inc.の登録商標です。

TouchWareは3M Touch Systems, Inc.の商標です。

Windows、Windows Media、Windows Vista、SQL Server、Xbox 360、Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

YouTubeはGoogle Inc.の登録商標です。

FirefoxはMozilla Foundationの登録商標です。

Kensington、MicroSaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i・Sound、Re/Vue、Screen Administrator、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。

C@T-one、FlexViewはEIZO株式会社の日本登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

VCCI

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

关于电子信息产品污染控制标识



本标识根据「电子信息产品污染控制管理办法」，适用于在中华人民共和国销售的电子信息产品。标识中央的数字为环保使用期限的年数。只要您遵守该产品相关的安全及使用注意事项，在自制造日起算的年限内，不会产生对环境污染或人体及财产的影响。上述标识粘贴在机器背面。

• 有毒有害物质或元素的名称及含量

| 部件名称 | 有毒有害物质或元素 | | | | | |
|-------|-----------|-----------|-----------|------------------|---------------|-----------------|
| | 铅 (Pb) | 汞 (Hg) | 镉 (Cd) | 六价铬 (Cr (VI)) | 多溴联苯 (PBB) | 多溴二苯醚 (PBDE) |
| 印刷电路板 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 机箱 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 液晶显示器 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 其他 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。
 ×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。
 （企业可在此处，根据实际情况对上表中打“×”的技术原因进行进一步说明）

アフターサービス

この製品のサポートに関してご不明な場合は、EIZOサポートネットワーク株式会社（EIZOサポート）にお問い合わせください。EIZOサポート一覧は別紙の「お客様ご相談窓口のご案内」に記載してあります。

保証書について

- この製品の保証書はセットアップガイド（裏面）にあります。必要事項をご記入の上、購入日が分かる書類（レシートなど）とともに保管してください。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低7年間保有しています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、EIZOサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
保証書の規定に従い、EIZOサポートにて修理または交換をさせていただきます。お買い上げの販売店、またはEIZOサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
お買い上げの販売店、またはEIZOサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前、ご連絡先の住所、電話番号/FAX番号
- お買い上げ年月日、販売店名
- 製品名、製造番号
（製造番号は、本体の背面部のラベル上に表示されている8桁の番号です。
例）S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ/グラフィックスボード/OS、システムのバージョン/表示解像度など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）

修理について

- 修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

製品回収、リサイクルシステムについて

- ・パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。当社は、使用済みモニターの回収、リサイクル体制を構築しており、お客様がこの製品をご使用後に廃棄する際は次の要領でお引き取りしています。
- ・なお、詳細な情報については、当社のWebサイトもあわせて参照してください。
(<http://www.eizo.co.jp>)

● 法人のお客様

この製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、有償で業界団体「パソコン3R推進協会」がお引き取りいたします。当社のWebサイトよりお申し込みください。

(<http://www.eizo.co.jp>)

● 個人のお客様

PCリサイクルマークの無償提供について

この製品は、PCリサイクル対象製品です。当社では、この製品をご購入いただいた個人のお客様にPCリサイクルマークを無償でご提供しております。ご購入後すぐに、次のWebサイトからお申し込みください。

(<http://www.eizo.co.jp>)

マークは本体背面部のラベルの近くに貼り付けてください。

一般社団法人 パソコン3R 推進協会内 パソコンリサイクル受付センター
EIZO Webサイト：<http://www.eizo.co.jp/support/recycle/personal/index.html>

※「PCリサイクルマーク申込」からお入りください。

(回収担当窓口は、一般社団法人 パソコン3R 推進協会内 パソコンリサイクル受付センターにて対応いたします。)

申し込みには、本体の背面部のラベル上に記載されている製品名と製造番号が必要となります。

PCリサイクルマークについて



個人のお客様が、このマークが付いた当社製品の回収を一般社団法人 パソコン3R 推進協会内 パソコンリサイクル受付センターにご依頼いただいた場合は、お客様に料金を負担いただくことなく回収、再資源化いたします。

お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、一般社団法人 パソコン3R推進協会内 パソコンリサイクル受付センターまでお願いいたします。

一般社団法人 パソコン3R 推進協会内 パソコンリサイクル受付センター

電話：045-226-4552

月曜日～金曜日（祝日および同センター指定の休日を除く）10：00～17：00

